

東レエンジニアリング西日本は、エンジニアリング、マニュファクチャリング、メンテナンスの3事業を柱とし、安全で高品質な製品を提供できる真の長期安定成長企業を目指します。

## 2022年10月28日 TPM全社活動報告会 開催

当社は中期経営課題達成のためのツールとしてTPM活動に取り組んでおり、毎年活動成果を全社に水平展開すべく、全社活動報告会を開催しています。この報告会は、各部署の代表サークルが自部署の改善内容や成果について報告するもので、今年は4サークルの特色ある取り組みについて、それぞれ工夫を凝らして報告しました。

東レエンジニアリングの藤本会長より講評をいただき、また社長・役員より内容に対する質問や更に改善に繋がるよう指導を受け、サークルメンバーのモチベーションアップに繋がり、また聴講した社員にも今後の活動に参考になる報告会となりました。

(担当部署：TPM推進室 077-534-0956)



### ユニット化について

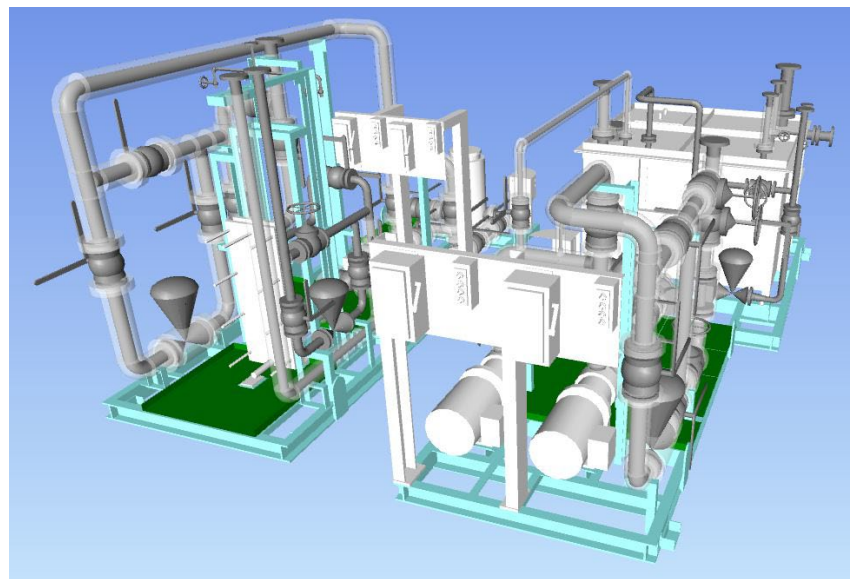
### 施設事業部

工事期間を短縮する施策の一つである『ユニット化』を紹介します。

ユニット化は、機器とその配管・配線などを同じ台座の上に組み上げて一体化することで、工場で製作したユニットを工事現場に搬入して据え付けるので、現場で行う配管・配線工事を減らして工事期間を短縮することができます。

ユニット化は現場に搬入する前に工場で品質確認ができるので、現場での手直し作業が発生しません。また、安全面でも工事現場の溶接作業を減らすことができるなど、工事期間短縮以外にもメリットがあります。

メリットがある一方で、機材をバラバラで納入するのに比べて寸法・重量が大きくなるため、輸送費や現場への搬入・据え付け費用は増える傾向があります。また、ユニット化の設計も必要になるため、費用増分と工事期間短縮によるメリットを総合的に判断して採用する必要があります。

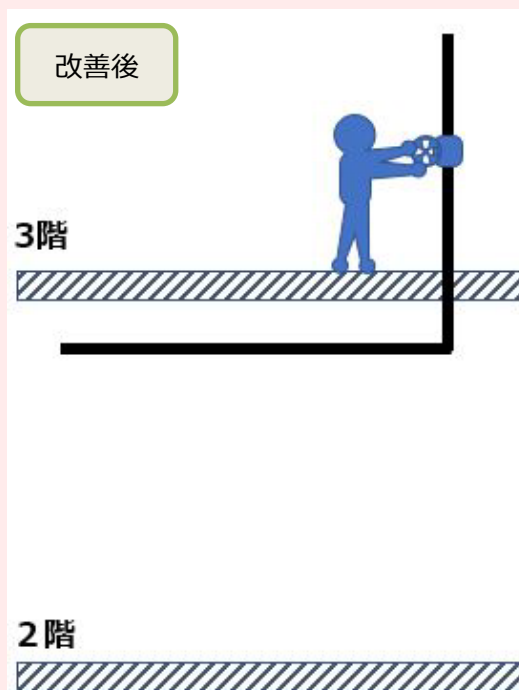
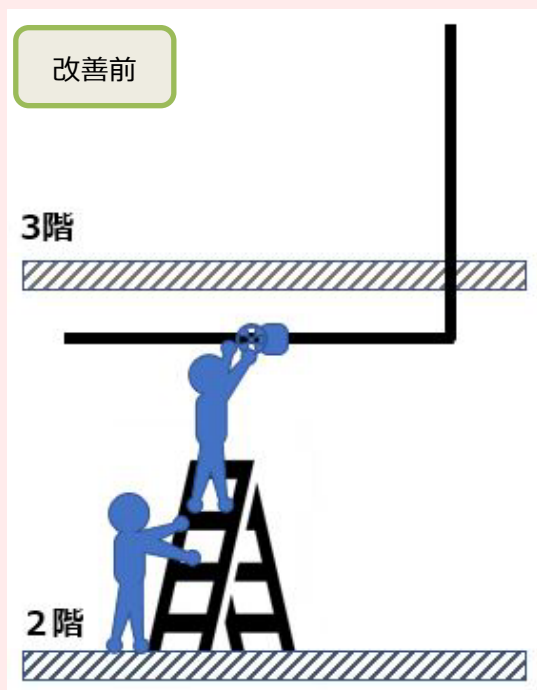


## ちりつも作戦⑩

滋賀保全事業部の冷却水配管バルブ操作の改善について、ご紹介します。

工場の2階天井付近のバルブ操作をする為には、脚立が必要で2人作業となっていました。

これについて、3階の手の届く箇所へバルブを設置することで脚立に上がるリスクを無くし、1人作業が可能となりました。



## 【ボート競技】とちぎ国体優勝！

当社社員の江本拓斗選手が、東レ滋賀ボート部の一員として、第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」に出場しました。

ボート競技は栃木市の谷中湖特設ボートコースで行われ、10月4日の決勝で、東レ滋賀は成年男子舵手付きフォアで7年ぶりの頂点に立ちました！

引き続き応援よろしくお願いします。



一番左が江本選手

